

1 男はつらいよ

ぼくの伯父さん (1989年)



佐賀が舞台になった 懐かしの映画

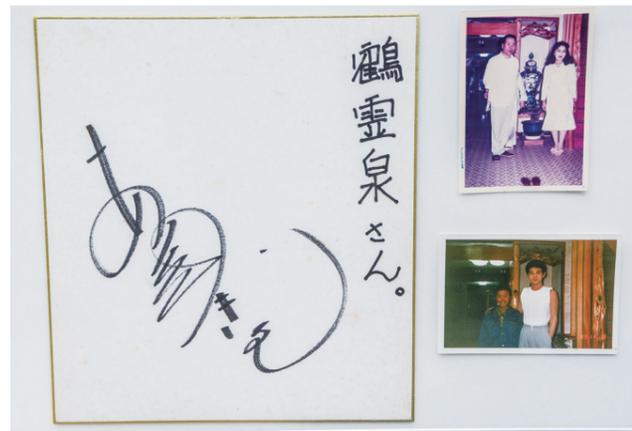
美



「男はつらいよ ぼくの伯父さん」好評発売中
DVD 価格：1,980円(税込)
BD 価格：3,080円(税込)
発売販売元：松竹
©1989 松竹株式会社



「寅さんの映画ロケはいい思い出です」と語る小池典洋さん



渥美清さんのサイン



記念撮影に応じる後藤久美子さん(左)
=1989年11月



制服姿の後藤久美子さん=1989年11月



山田洋次監督や俳優陣が宿泊した鶴霊泉

少年の手紙がロケの契機に

りがあります。水没地区で暮らす少年が「ぼくらのまちがダム建設で消えてしまいます」と寅さんに手紙を送ったことがきっかけになりました。富士町のほか、吉野ケ里遺跡、小城高校、嘉瀬川河川敷、旧千代雀酒造、白石町の民家など県内のあちこちで撮影が進められました。数々のマドンナ役の心をつかみながらも、なかなか恋愛が成就しなかった寅さんは、この回は満男の恋の指南役です。

「後藤さんは本当に美しいとしか言いようがなくて...」。こう語るのは、古湯温泉(佐賀市富士町)の温泉旅館「鶴霊泉」代表取締役の小池典洋さん(43)です。小池さんは当時小学生。撮影はお隣の「あびす旅館」であり、古湯じゅうから見物の人が集まり、にぎわったことを覚えています。山田洋次監督や出演者の皆さんは鶴霊泉に宿泊され、「記念写真にも応じてくださいました」とも。2年前、旅館に恩返しルーム(シアタールーム)を設置したときに作品を見返しましたが、寅さんはじめ、出演者の皆さんの人柄、温かさにほっこりさせられました。近ごろは地方であっても人間関係が希薄になっており、考えさせられたそうです。いまは湖底に沈んでしまったふるさとの情景も、映画の中でしっかりと生き続けます。

水没前のまちの情景を活写

「寅さんを見ないと、正月気分になれない」。年配者にはこんな人も多いのではないだろうか。渥美清演じる寅さんこと車寅次郎が全国を旅する「男はつらいよ」は、何度か佐賀をロケ地に選んでいます。忘れられないのは、1989(平成元)年公開の第42作「男はつらいよ ぼくの伯父さん」です。

東京で暮らす寅さんの甥っ子、満男(吉岡秀隆)は浪人生で、引越していった高校の後輩、泉(後藤久美子)に恋心を抱いています。博(前田吟)やさくら(倍賞千恵子)の不安をよそに、満男は泉に一目会いたい一心で、佐賀へとバイクを走らせませす。佐賀の旅館で偶然、寅さんと再会。2人で泉を訪ねますが、泉の叔母(檀ふみ)が優しい一方、叔父(尾藤イサオ)は堅物の教員で...

この作品の県内ロケは、10年前に完成した嘉瀬川ダム(佐賀市富士町)と深い関わ

しい情景、個性あふれるキャスト、ドキドキの展開。老若男女を問わず、映画ファンは多いことでしょう。作品は感動とともに脳裏に刻まれ、時間がたっても簡単に色あせることはありません。今回は佐賀が舞台になった懐かしの映画特集です。ロケ地を訪ね、関係の皆さんに話を聞きました。



映画に登場するカルチャー焼き店「オックスフォード」



牛津高には映画撮影の思い出をたどるコーナーが設けられている



店に残っているはなわさんの人形



俳優陣も味わったカルチャー焼き



今回見返して「へえー」と思ったのは、2008年の北京五輪ソフトボールで金メダルに輝いた上野由岐子投手が友情出演しているところです。昨年の東京五輪で再び上野投手が金メダルを獲得されたことを思うと、時の流れとともに感慨深いものがあります。

おり、さらなる入部を期待しています。作中で部員たちが練習後に立ち寄る「オックスフォード」は、牛津高近くに実在するカルチャー焼きのお店です。「撮影1週間前に大道具さんが来てお店に手を入られたのですが、いまもその時のままです」。店主の有浦仁士さん(63)はこう語ります。ロケ当日は早朝からカルチャー焼き100個を準備し、妻節子さん(63)と近くで撮影を見守りました。「スタッフの皆さんは親切で丁寧でした」と有浦さん。当時はカルチャー焼き屋さんと呼ばれていましたが、映画の中で付けられたオックスフォード(牛津の英訳)の店名のまま営業を続けています。作中のご主人は佐賀出身のはなわさんで、映画に登場したカーネルサンダース風の「はなわ人形」も健在です。

2 ソフトボーイ (2010年)



映画と同じように全国大会での躍進を目指している牛津高男子ソフトボール部の部員たち



「ソフトボーイ」
DVD発売中: 3,080円(税込)
販売: 東映 発売: 東映ビデオ

12年前の2010年、佐賀が舞台になった作品の公開が続きました。県立牛津高(小城市牛津町)の男子ソフトボール部のエピソードをもとにした青春映画「ソフトボーイ」(豊島圭介監督)もその一つです。高校3年の春。オニツカ(永山絢斗)は、フランス料理のシェフになりたいという夢に思いを巡らせていました。そんな時、幼なじみのノグチ(賀来賢人)が駆け寄ってきます。「ソフトボールで全国大会ばい」。県内に男子ソフトボール部が一つもないことに気付いたノグチは「ヒーローになれる」「モテる」といった不純な動機で部員を集め、練習を始めます。しかし後日、女子マネジャーのクサナギ(波瑠)が全国大会について調べると、ノグチの確認不足が明らかに。公平を期すため、佐賀と大分の代表校同士で試合をし、その勝者しか全国大会に行けないことになっていったのです…。

野

部は全国大会常連に成長

球経験者が少ないことなど、自分たちの新チーム始動時に似ていると思いました。こう語るのは牛津高男子ソフトボール部でいま主将を務めている坂本凜太さん(17)です。春に1年生が加入し、部員15人、マネジャー2人。8月下旬に高知県で開かれる全国高校総体での躍進を期して猛練習中です。県内の男子ソフトボール部はまだまだ1校だけ。映画と同じく先輩たちには大分との代表決定戦がありました。全国高体連のルール変更で昨年から「1県1校」の出場となり、作中でノグチが思ったように、まっすぐ全国大会に進めるようになったそうです。いまや全国大会常連で、全国高校総体は今年で11回目の出場になります。「ソフトボールの魅力はスピード感。中学まで別の競技だった部員も多いですが、全国大会などで活躍しています」と監督5年目の野原拓哉さん。2年後の2024年に佐賀開催となる国民スポーツ大会も控えて



牛津高男子ソフト部の 実話が題材



劇場版 ルパンの娘

Blu-ray・DVD発売中
Blu-ray: 6,380円(税込)
DVD: 4,180円(税込)
発売: フジテレビジョン
販売: 東映・東映ビデオ

佐賀が舞台になった主な映画

作品名/監督/公開年/出演者/ロケ地

張り込み	野村芳太郎 / 1958年 / 田村高弘、高峰秀子 / 神崎市神崎町
にあんちゃん	今村昌平 / 1959年 / 長門裕之、松尾嘉代 / 唐津市肥前町
男はつらいよ・寅次郎守屋	山田洋次 / 1974年 / 倍賞千恵子、前田吟 / 唐津市呼子町
トラック野郎・男一匹桃次郎	鈴木則文 / 1977年 / 菅原文太、夏目雅子 / 唐津市
乱	黒澤明 / 1985年 / 仲代達矢、原田美枝子 / 唐津市鎮西町
次郎物語	森川時久 / 1987年 / 加藤剛、高橋恵子 / 神崎市千代田町
東京日和	竹中直人 / 1997年 / 竹中直人、中山美穂 / 唐津市厳木町
春よこい	三枝健起 / 2008年 / 工藤夕貴、時任三郎 / 唐津市呼子町
僕達急行A列車で行こう	森田芳光 / 2012年 / 瑛太、松山ケンイチ / 伊万里市
花筐 / HANAGATAMI	大林宣彦 / 2017年 / 窪塚俊介、矢作穂香 / 唐津市

佐賀県フィルムコミッション

佐賀市内 1-1-59 (佐賀県庁新館 1F)
TEL: 0952-25-7296
MAIL: saga-fc@pref.saga.lg.jp

@saga.filmcommission
@SAGA_film
@saga_film_commission



https://www.saga-fc.jp/

佐賀県は、2013〜2019年ぐらいまでの間、外国人観光客を日本に呼び込むインバウンド戦略もあって、主に海外映画のロケ誘致に比重を置いていました。最初に力を入れたのはタイの作品誘致です。映画「タイムライン」が人気を呼び、ロケ地である祐徳稲荷神社（鹿島市）などに行ってみると、タイから大勢の方がお見えになりました。次につなげようと、その後はフィリピン映画のロケ誘致が続きました。この間、結果的に国内

作品の誘致は少なくなりました。ただ、新型コロナウイルスの感染拡大で、映画ロケを取り巻く環境も一変しました。近年、海外作品のロケ誘致は難しく、国内作品の撮影が主流になっています。直近で支援した作品の一つは、深田恭子さん主演の「劇場版ルパンの娘」です。主役家族が海外に新婚旅行に行くという設定で「日本国内で海外に見える場所」を探される中、ドイツ・ツヴィンガー宮殿を再現した建物がある西松浦郡有田町の有田ポーセリンパークで撮影が行われました。テレビドラマでは、サウナを題材にした原田泰造さん主演の「サ道2021」のロケがありました。3年連続でサウナシチュレーション1位に輝いた御船山楽園ホテルが最終2話

に登場しました。制作側の「佐賀っぽい場所」という要望で武雄温泉楼門や嬉野市の茶畑なども登場します。公開前の映画情報についても県フィルムコミッションの公式サイトで紹介しています。県内各地で撮影され、公開前の作品としては「なぎさ」「夜を越える旅」などがあります。また、武雄市出身の小島淳二監督の映画「あこがれの色彩」が有田町を中心に撮影されました。4月に有田町で完成試写会があり、佐賀新聞でも紹介されました。今後、一般上映されることになっていくと思います。現段階で海外作品のロケ誘致は難しい状況ですが、コロナが収束すれば、またこうしたロケも増えていくと思います。

3 悪人 (2010年)



紳士服のフタタ佐賀西バイパス店には深津絵里さんのパネルが大切に保存されている



「悪人」Blu-ray & DVD発売中
発売元: アミューズソフト
販売元: 東宝
© 2010「悪人」製作委員会



妻夫木聡さんのサイン



ロケがあった紳士服のフタタ佐賀西バイパス店

孤独な男女の逃避行描く 佐賀市の紳士服量販店などで撮影

「ソフトボーイ」とほぼ同じ時期に佐賀でロケがあり、注目を集めたのは李相日(リ・サンイル)監督の「悪人」です。長崎市出身の作家吉田修一の同名小説をもとにしたヒューマン・ドラマ。殺人事件を起こした孤独な男と行動を共にする女の狂おしい愛を描いています。

長崎のさびれた漁村で友人も恋人もなく、祖父母と共に暮らす祐一(妻夫木聡)。一方、佐賀の紳士服量販店に勤める光代(深津絵里)は、職場と家を往復するだけの退屈な日々を送っていました。ある日、祐一は出会い系サイトで知り合った保険会社のOL佳乃(満島ひかり)になじられ、激昂して殺人を犯してしまいます。その後、光代と出会った祐一は彼女を車に乗せて逃避行を開始。光代は祐一を支え続けますが、警察の捜査が進み、2人は無人の灯台に逃げ込みます…。

舞台となったのは佐賀、長崎、福岡の北部九州です。佐賀県内では三瀬峠、JR佐賀駅などが登場します。光代の職場の撮影は、佐賀市鍋島町の「紳士服のフタタ佐賀西バイパス店」で行われました。

「自分の会社が映画に出るということで喜んだのですが、タイトルが『悪人』ということで、最初は少し抵抗感もありました。でも見てみると、社会派の映画で、考えは変わりました。フタタに入社して17年、佐賀西バイパス店の店長に就任して1年半の林孝典さん(39)はこう振り返ります。店内には、撮影時のパネルや出演者のサインなどが大切に保管されていました。いまフタタの女性スタッフに制服はありませんが、ロケで深津さんが着用しているのは、当時のフタタの制服だったそうです。

ちょうどいま、広瀬すず、松坂桃李らが出演している李相日監督の新作映画「流浪の月」が好評上映中です。